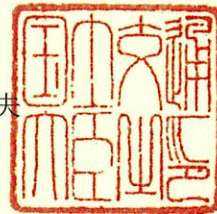


認定書

国住参建第 1398 号
令和 5 年 8 月 28 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060WL-0788-2

2. 認定をした構造方法等の名称

バスダクト・ケーブル・電線管／ロックウール保温板・黒鉛混入水酸化アルミニウムシール材・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

バスダクト・ケーブル・電線管／ロックウール保温板・黒鉛混入水酸化アルミニウムシール材・黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	矩形
	面積	0.6m ² 以下
占積率 (開口面積に対するバスダクト・ケーブル・電線管の断面積の総合計の割合)		23.3%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張/軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、FP060NP-0049、FP060NP-0075-1、FP060NP-0185-1、FP060NP-0189、FP060NP-0192-1、FP060NP-0233、FP060NP-0250-1、FP060NP-0258、FP060NP-0294-1、FP060NP-0345-1、FP060NP-0360-2、FP060NP-0399(1)、FP060NP-0399(2)、FP060NP-0427-1(1)、FP060NP-0427-1(2)、FP060NP-0441(1)、FP060NP-0441(2)、FP060NP-0454-1、FP060NP-0485、FP060NP-0487) 厚さ 42mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、バスダクト・ケーブル・電線管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様	
耐熱シール材	材料	黒鉛混入水酸化アルミニウムシール材	
	組成 (質量%)	組成は企業秘密とさせていただきます。	
	密度	1.0g/cm ³ 以上	
	充てん量	隙間が無いように密に充てん (バスダクト・ケーブル・電線管と仕切板との隙間(クリアランス10mm以下)に奥行き30mm以上、密に充てん)	
仕切板	表面化粧材	材料	表面化粧ロックウール保温板
		厚さ	47mm以上
		施工条件	バスダクト・ケーブル・電線管と仕切板との隙間(クリアランス)10mm以下
	基材	材料	仕様：あり又はなし ①アクリル系樹脂 ②ウレタン系樹脂 ③アクリル系樹脂・ウレタン系樹脂の混合物 ④エポキシ系樹脂 ⑤酢酸ビニル系樹脂
		塗布量	1面あたり1.5kg/m ² 以下(両面又は片面)
		材料	ロックウール保温板(JIS A 9504準拠)
		厚さ	47mm以上
熱膨張性シート	基材	密度	160(±16)kg/m ³ 以上
		材料	黒鉛含有ブチルゴムシート裏張アルミニウムはく張ガラスクロス
		寸法	製品厚さ2.09mm以上 幅50mm以上(かぶり寸法：電線管側30mm以上、ケーブル側20mm以上)
	シート	使用箇所	鋼製電線管端部
		材料	アルミニウムはく張ガラスクロス
		厚さ	0.09~0.25mm
		材料	黒鉛含有ブチルゴム
		厚さ	2.0mm以上
組成 (質量%)	組成は企業秘密とさせていただきます。		

表3 バスダクト・ケーブル・電線管の仕様

項目		仕様			
バスダクト	材料	バスダクト(JIS C 8364)			
	導体の断面積	1本あたり	2400mm ² 以下		
		総合計	59700mm ² 以下		
	導体の種類	JIS C 8364に規定する材料(アルミニウム、銅等)			
	総有機量	22.8kg/m以下			
	絶縁体	JIS C 8364に規定する材料 (ポリエチレン、ポリエステル等)	厚さ	0.75mm以下	
外箱(ダクト)	鋼、アルミニウム、銅等				
ケーブル (電線)	導体(又は芯線) の断面積	1本あたり	150mm ² 以下		
		総合計	1103mm ² 以下		
	導体(又は芯線) の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質			
	総有機量	23.4kg/m以下			
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	2.0mm以下	
		塩化ビニル系			
ポリオレフィン系					
ゴム系					
介在(円形に調整 する充てん材)	紙、ジュート、又はポリオレフィン				
シース	ポリエチレン系	厚さ	1.5mm以下		
	塩化ビニル系				
	ポリオレフィン系				
	ゴム系				
電線管	樹脂製	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411)		
		種類	CD管、PF管		
		外径	φ48mm以下		
	鋼製	材料	鋼製電線管(JIS C 8305)		
		呼び方	G16~G70	C19~C75	E19~E75
		外径	21.0~75.2mm	19.1~76.2mm	19.1~76.2mm
		厚さ	2.3~2.8mm	1.6~2.0mm	1.2~1.8mm
		長さ	250mm以上		

4. 副構成材料の仕様：

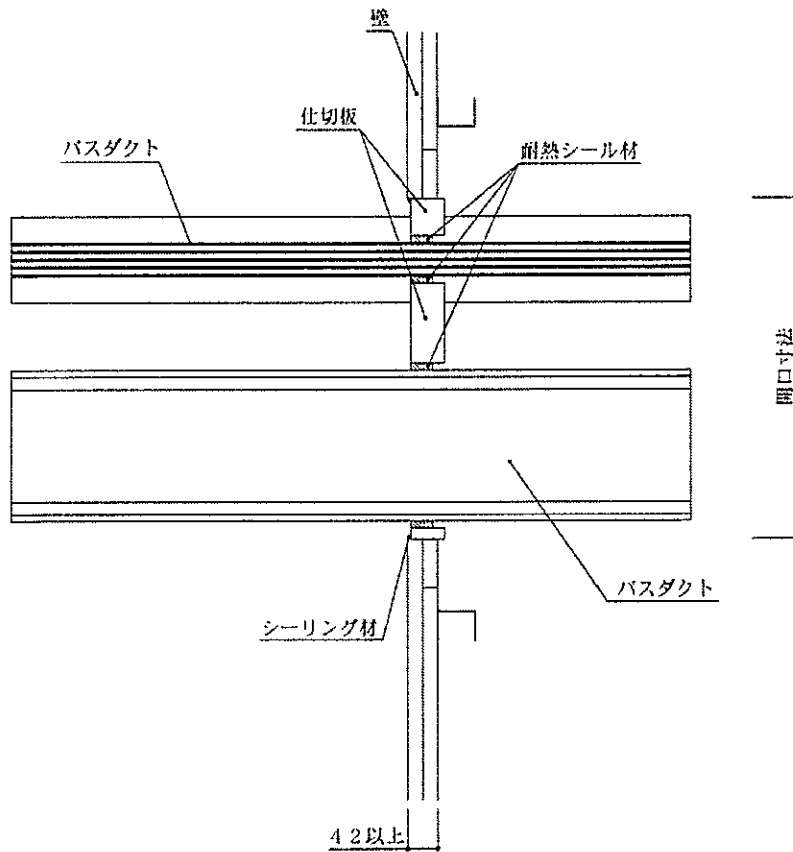
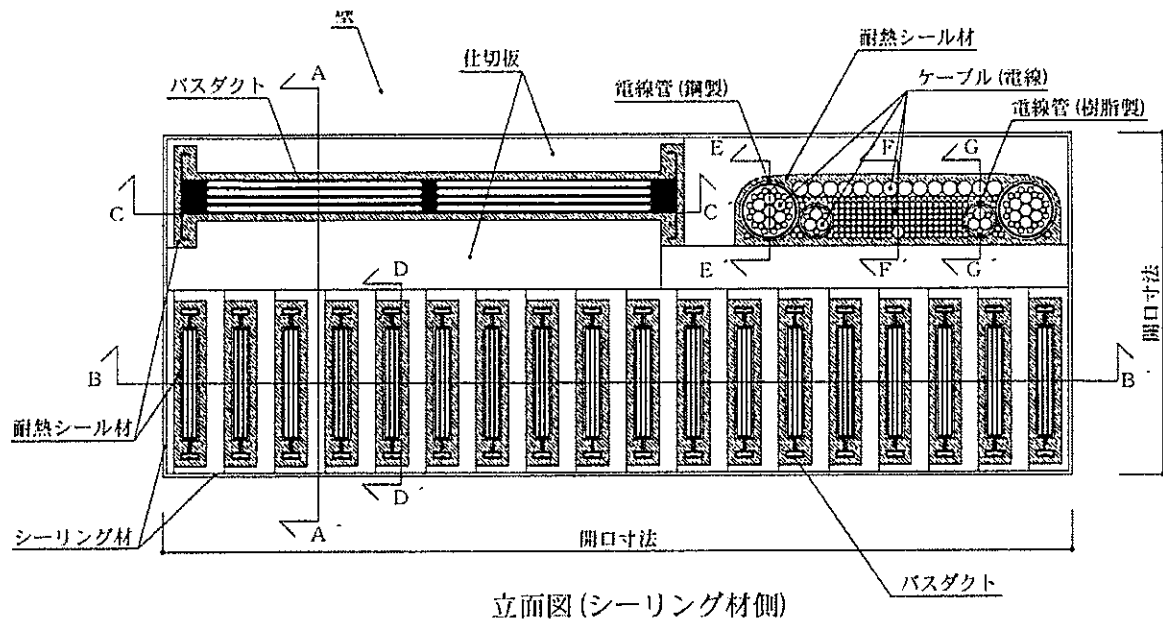
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様			
ブッシング	材料	仕様：あり又はなし 鋼製電線管用の付属品(JIS C 8330：絶縁ブッシング2号)			
	寸法	外径φ79mm以下、長さ49mm以下、厚さ8mm以下			
熱膨張性シート固定材	材料	①又は② ①鉄線(被覆：あり又はなし) ②銅線			
シーリング材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：①又は② ①変成シリコン系樹脂 ②シリコン系樹脂			
	使用箇所	躯体(壁)と仕切板との接合部(片面側)			
離型処理材	材料	仕様：あり又はなし テープ(布製等)			
	厚さ	0.31mm以下			

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1～図3に示す。

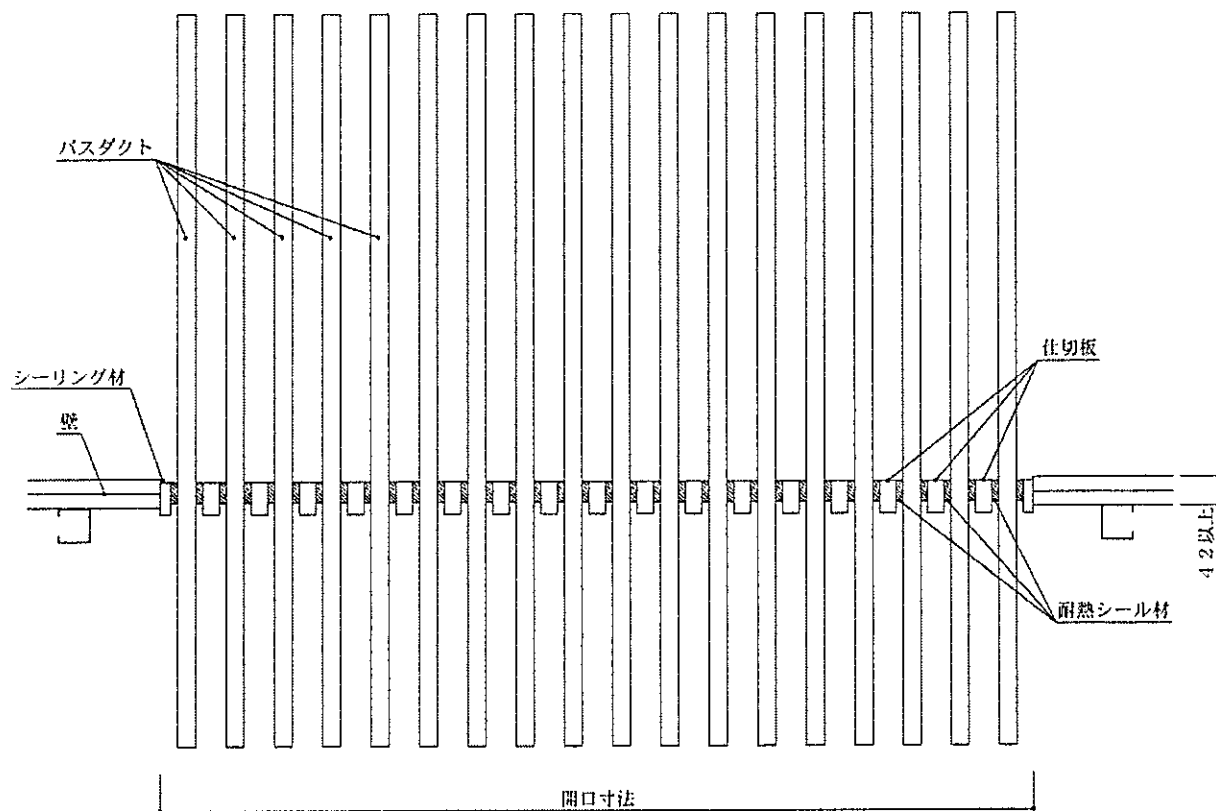
単位 mm



注) バスダクト・ケーブル・電線管の配置は一例を示す

図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



B-B 断面図

図2 構造説明図(施工図)

単位 mm

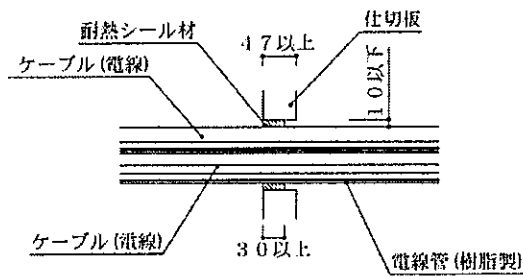
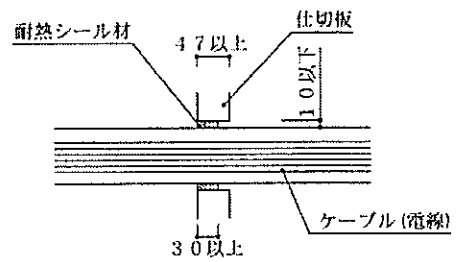
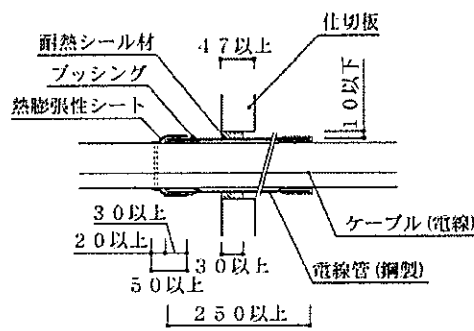
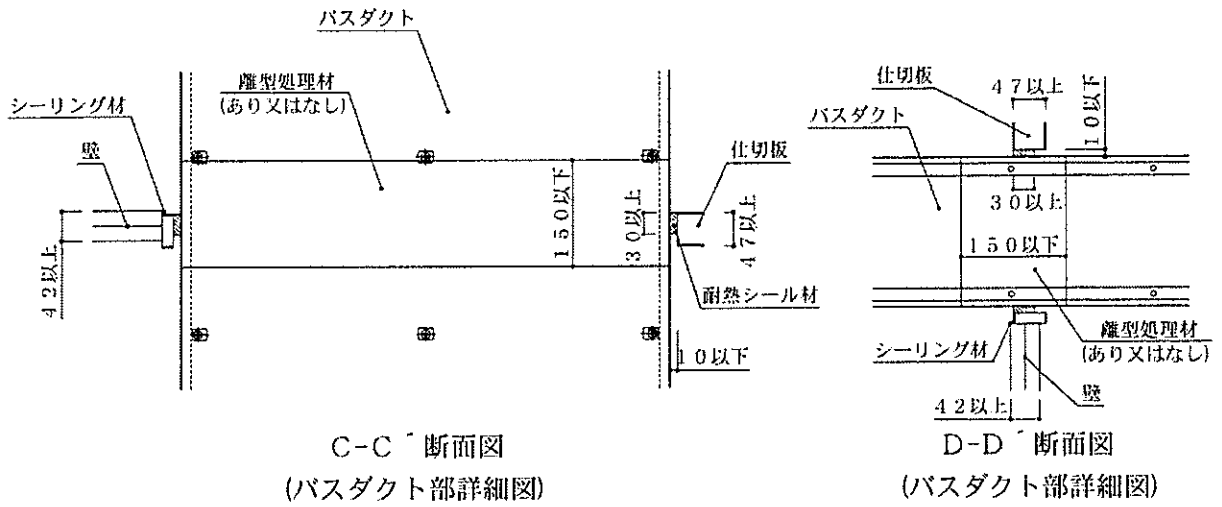


図3 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部の確認及び清掃
開口面積、バスダクト、ケーブル占積率及び壁厚等が仕様に適合しているかどうか確認する。
- (2) 離型処理材の取り付け
必要に応じて、離型処理された粘着テープなどをバスダクトに巻きつける。バスダクトの凹凸によって隙間が発生する場合は耐熱シール材を充てんする。
- (3) 仕切板の切断及び加工
仕切板を開口部の寸法、貫通しているバスダクト、ケーブルの形状に合わせて切断する。その際、仕切板とバスダクト、ケーブル、電線管との隙間は10mm以下となるように調整する。ただしバスダクトの切欠部等では局部的に10mmを超えてもよい。
- (4) 仕切板の取付け
切断、加工された仕切板を設置する。
- (5) 耐熱シール材の充てん
ケーブル、バスダクトおよび電線管と仕切板との空隙がある場合は耐熱シール材を用いて密に充てんする。その場合、耐熱シール材は仕切板上面から奥行き30mm以上、幅10mm以下とする。
- (6) シーリング材の施工
開口部の仕切板と壁との接合部にシーリング材を施工する。